

第2回目 日本交通心理学会認定「交通カウンセラー」養成講座 基礎講座Ⅰ カリキュラム

(兼 国土交通省認定「第一種カウンセラー」資格要件研修カリキュラム)

基礎講座Ⅰ

平成25年5月24日～7月28日

項目	研修内容	実施時間
1. 事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ① 受講生は、事前に「運転適性診断」の受診 ※1 ② テキストを事前に目を通しておくこと ③ 参考図書にも事前に目を通しておくこと 	※1 各事業所または適性診断実施機関で受診する。
H25.5.24 (金) 養成講座開催についての説明	養成講座開催の意義と今後のスケジュール、認定取得までの準備に関する説明	2時間30分 14:30～17:00
第1回目：H25.5.25 (土) 2. 適性診断一般に関する事項 国交省研修#1に該当	<ul style="list-style-type: none"> ① 適性診断とは ② テストの理解 ③ テストの歴史 ④ テストに必要な要件 ⑤ テストを扱う診断員のあり方 ⑥ テストを通じての人間特性の把握 ⑦ テスト結果の表し方・伝え方と活用効果の発揮 ⑧ 現在、使用されているテストの概要 等 	座学：2時間 10:00～12:00
3. 基本的なリスニングの実習	① カウンセリング技術の基礎となる「傾聴」の技術を取得するため、基本的な聴き方（リスニング）の訓練を実施。	実習：4時間 13:00～17:00
第2回目：H25.5.26 (日) 4. 交通心理学に関する事項 国交省研修#2に該当	<ul style="list-style-type: none"> ① 事故発生プロセス ② 事故関連諸要因 ③ 交通行動モデル ④ 理想的な安全運転者 ⑤ 事故多発運転者 ⑥ 安全対策の諸方法 ⑦ 安全対策における適性診断の位置づけと役割 等 	座学：4時間 9:00～14:00 (途中、昼休憩を1時間含む)

<p>5. カウンセリングの理論に関する 事項 1 国交省研修# 3 に該当</p>	<p>① カウンセリングの基本的技術（基本的なかかわり技法）について ・傾聴の意義と基本的態度 傾聴の意義、傾聴の前提となる考え方、傾聴の基本的態度 等</p>	<p>座学：2時間 14：00～16：00</p>
---	--	-------------------------------

適性診断の受診※1： 受講生は、自ら運転適性診断を始まるまでに受診しておいてください。遅くとも第3回目（6/29）が実施するまでには受診願います。適性診断は、各事業所で使用しているもの、または、適性診断実施機関が実施しているものを受診願います（例：電腦適性診断、警察庁方式適性診断、NASVA 適性診断等のような運転適性診断でも結構です）。

<p>補講：H25.6.28（金）</p>	<p>項目 2， 4， 5 について受講できなかった方を対象として、補講を実施</p>	<p>座学：10時～17時</p>
<p>第3回目：H25.6.29（土） 6. カウンセリングの理論に関する 事項 2 国交省研修# 3 に該当 7. 交通カウンセリング実施に関する 事項</p>	<p>① カウンセリングの基本的技術（基本的なかかわり技法）について ・カウンセリングの考え方と技術（傾聴技法）について かかわり行動、場面構成、簡単受容、事柄への応答 等</p> <p>① 交通カウンセリング実施にあたって注意すべき事項 ・交通カウンセリング実施の前提 ・交通カウンセリング実施にあたっての壁 ・受診者の特徴 ・交通カウンセリング実施のポイント 等</p>	<p>座学：2時間 10：00～12：00</p> <p>座学：2時間 13：00～15：00</p>
<p>8. 指導及び助言の手法に関する事項 国交省研修# 4 に該当</p>	<p>① 適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの</p>	<p>座学：2時間 15：00～17：00</p>
<p>第4回目：H25.6.30（日） 9. 指導及び助言の実習 1 国交省研修# 5 に該当</p>	<p>① 基本的なかかわり技法の実習 ・基本的な傾聴の技法を用いて、リスニングの訓練を実施。 場面構成や簡単受容、事柄への応答、感情への応答など</p> <p>② 自宅学習 ・基本的なかかわり技法の訓練を職場で訓練する。 ・逐語記録の作成</p>	<p>実習：6時間 9：00～16：00</p> <p>実習：各自の勤務先 で事例を積む</p>

<p>第5回目：H25.7.27（土）</p> <p>10. 模擬指導・助言をもとにした事例検討会1</p> <p>国交省研修#6に該当</p>	<p>① 事例検討会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習にて実施した内容に基づいて指導する。 	<p>実習：6時間</p> <p>10：00～17：00</p>
<p>第6回目：H25.7.28（日）</p> <p>11. 指導及び助言の実習2</p> <p>国交省研修#5に該当</p>	<p>① 基本的なかかわり技法の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な傾聴の技法を用いて、リスニングの訓練を実施する。要約や質問の仕方などについて訓練する。 <p>② 自宅学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なかかわり技法の訓練を職場で訓練する。 	<p>実習：6時間</p> <p>09：00～16：00</p> <p>実習：各自の勤務先で残りの事例を積む</p>
<p>国土交通省認定第一種カウンセラー資格要件研修のカリキュラムは、ここで一部（#5の15事例）を残して終了となります。これ以降、指導・助言の実習（#5）の15事例を交通心理学会と提携している適性診断認定機関に提出してください。全過程の出席確認と#5の15事例を確認次第、順次「第一種カウンセラー資格要件研修修了証」を発行いたします。</p>		

なお、以上のカリキュラムは、研修の進行具合により一部変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

参考：国土交通省 第一種カウンセラー研修（別表第三 第六条関係）

研修項目	内容	時間
(#1) 適性診断一般に関する事項	適性診断の趣旨、内容等に関するもの	1 時間
(#2) 交通心理学に関する事項	交通心理学による交通事故の要因分析、安全対策等に関するもの	4 時間
(#3) カウンセリングの理論に関する事項	カウンセリングの定義、カウンセリングの特質、カウンセリング理論、小集団活動等に関するもの	2 時間
(#4) 指導及び助言の手法に関する事項	適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの	2 時間
(#5) 指導及び助言の実習	指導及び助言の実習を行うことにより指導及び助言を行う能力を習得するもの	1 5 事例
(#6) 模擬指導・助言をもとにした事例検討会	研修員が行った模擬指導・助言に係る面接の記録をもとに、受診者の心理を理解する方法、面接の実施方法等を習得するものであって、参加する研修員が十二人以下であるもの	研修員 1 人 1 事例以上で、合計 3 事例以上

#6の事例検討会は、研修員（第一種カウンセラーの資格がなく、これから取得しようとする研修参加者）一人1事例以上で、3名以上12名以下で実施すること。